

教えて！市立病院

vol.53

市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

テーマ

お年寄りに寄り添った大腸がん治療

今月のドクター
外科兼
内視鏡外科長
佐藤佳宏 医師



大腸がんは、食事の欧米化の影響で増加傾向にあります。大腸がん検診では、65歳以上で発見率が高く、75歳以上でさらに高くなります。一方、がん医療の進歩は目覚ましく、早期発見できれば治る病気になりつつあります。早期治療は負担が軽減するため、高齢者ほど検診を受けるメリットが大きく、毎年検診を受けることをお勧めします。

外科では担当医師が外来初診から診断、治療、在宅診療そして看取りまで一貫した治療を行っています。

がんを告知するときには看護師が患者さんのお話を聞き、思いを受け止め、うつ傾向が強い場合は専門的なチーム医療で対応します。

治療は、大きく分けて内視鏡的治療、手術、抗がん剤、放射線治療を選択して行います。このうち、内視鏡的治療や手術は病変を切り取るもので、比較的症状が進行していない段階で用いられます。場合によっては手術前2週間程度、栄養状態を改善する治療やリハ

ビリを行うこともあります。

当院で力を入れている腹腔鏡下大腸切除術は、開腹手術と比べて傷口が小さいため痛みも少なく、退院までの期間も短くなります。

手術後は、離床や歩行、口からの栄養補給を促進するなど、合併症予防と早期退院に努めています。高齢者は、いったん合併症が発症すると回復に時間がかかり、生活の質が著しく低下しますので、予防が重要です。

退院後は、住み慣れた家で今まで通り暮らせるように支援し、日常生活での動作の程度や栄養状態が保たれるよう往診しています。病院では見られないような患者さんの一面を見ることもあり、一貫してその人の生き方にあった治療に努めています。

詳しくは8月19日(土)に開催する市民公開セミナーでお話しますので、ぜひお越しください。

※開催内容は14ページをご覧ください。

YIRA NEWS

国際交流の架け橋

米沢市国際交流協会事務局

米沢市国際交流プラザ「アーカス」置賜総合文化センター1階
☎ 33-9146 【電子メール】 yira@omn.ne.jp



今月のトピック

青い目のサムライ

皆さん、8月になり花火の時期がやってきましたね！イギリスでは正月や寒い時期にしか花火をしないので、夏の花火の方が絶対に良いと思いながら毎年楽しんでます。

さて、今回は歴史の話をしたと思います。皆さんは「三浦按針」という人を知っていますか？日本では「初めての外国人武士」と呼ばれています。1600年、航海士だったウィリアム・アダムズは極東を目指した航海の途中で日本に漂着しました。漂着後、徳川家康に気に入られ三浦按針という名前を与えられて、武士として認められました。また、幕府からの要請で西洋式の帆船を作ったりしています。

さて、アダムズはどこの人でしょうか？そう、イギリス人なのです。しかも私と同じケント州出身です。実はこの縁でケント州は静岡県伊東市、神奈川県横須賀市と姉妹都市になり、国際留学プログラムができました。私は、このプログラムで日本に初めて来ました。もしアダムズがいなければ、今米沢にいないかもしれません。米沢も武士の歴史が深いので、知ってほしいと思いました。では、さらばだ！

Eigo・中国語でランチ

■日時／Eigo：8月17日(木)、中国語：8月22日(火)各12時～13時

■会場／アーカス

■参加費／無料(昼食持参)

オープニングセレモニー & YIRA 持ち寄り Afternoon Tea Party!

新国際交流プラザ「アーカス」のお披露目イベント！第1部セレモニー：13時30分～、第2部持ち寄り Afternoon Tea Party!：14時～

■日時／8月5日(土)

■会場／置賜総合文化センター1階 新国際交流プラザ「アーカス」

■参加費／会員無料、非会員200円(第2部のみ) ※第2部のみ要事前申込み。なお、第二部はお茶菓子1品、自分の皿・コップをお持ちください！